

石巻市と災害科学国際研究所との連携と協力に関する協定を締結しました(2017/05/29)

テーマ：包括的連携と相互の協力
場 所：石巻市役所（宮城県石巻市）

平成 29 年 5 月 29 日（月）、東北大学災害科学国際研究所は、この度、石巻市と連携と協力に関する協定を締結しました。石巻市役所にて、「国立大学法人東北大学災害科学国際研究所と宮城県石巻市との連携と協力に関する協定締結式」が開催されました。

石巻市では、最大の被災都市からの世界の復興モデルを目指して、災害に強いまちづくり、産業・経済の再生、絆と協働の共鳴社会づくりを基本理念として、復旧・復興に取り組んでいます。また、東北大学としては、平成 23 年 6 月 23 日に、石巻市と東北大学大学院工学研究科が包括連携に関する協定を締結しており、石巻市の復興事業への連携・協力を継続して行って参りました。その後、平成 24 年 4 月に東北大学災害科学国際研究所が発足し、東日本大震災の発生から 6 年以上が経過する中で、石巻市と東北大学災害科学国際研究所との連携や協力関係が、多岐かつ充溢したものになっています。例えば、東北大学災害科学国際研究所では、石巻市復興まちづくり推進会議、石巻市学校防災推進会議、石巻市震災伝承検討会議・震災遺構整備検討会議などの会議に参画するだけでなく、石巻市の復興計画の策定、復興まちづくりの策定と市民協働の推進、社会基盤施設・公共施設のデザイン、復興教育／防災教育の推進、防災主任等の研修協力、地域防災計画の策定など、多くの研究所員が様々な場面で実務的かつ実践的に石巻市の復興・防災・減災に関する取組を支援しています。

こうした互いの常日頃の取組・連携がある中で、東日本大震災で被災した被災地での防災・減災や復興を効果的、そして実践的に進めていくことに関して、石巻市と東北大学災害科学国際研究所との関係をより一層活発化させ、復興や防災・減災のまちづくりが大きく推進するよう、改めて本協定の締結を行うことになりました。

式典では、当研究所から今村文彦所長・教授、佐藤健教授、小野田泰明教授、平野勝也准教授、姥浦道生准教授、佐藤翔輔助教、曾根芳則事務長が出席しました。式の最後に、今村所長からは「石巻における震災を通して得た教訓を国内外に発信したい。」との言葉がありました。なお、協定における連携の内容は下記のとおりです。式典には、関係者をはじめ多くの方に参加いただきました。

- (1) 復興計画・復興まちづくりに対する多角的な取組（工学研究科と協働）
- (2) 学校における防災管理と防災教育の推進および学校と地域との連携強化に関する取組
- (3) 沿岸平野部における効果的な津波避難対策や地域防災に関する連携とその具体的な施策の推進に関する取組
- (4) 震災伝承計画および震災遺構整備計画および関連事業の推進に関する取組



今村所長による挨拶協定締結の様子



参加者の集合記念写真